

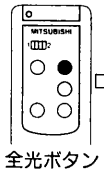
リモコン・壁スイッチの使いかた

リモコン操作

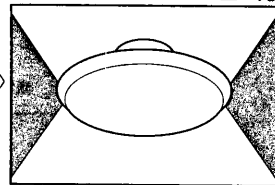
「全光」「直接光」「間接光」「常夜灯」の4つの照明パターンがお好みのボタンで選べます。

壁スイッチを入れる

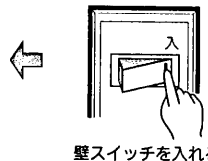
照明パターン



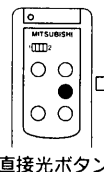
全光ボタン



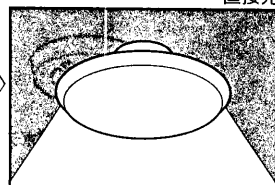
全光



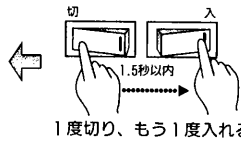
壁スイッチを入れる



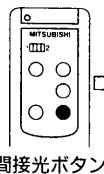
直接光ボタン



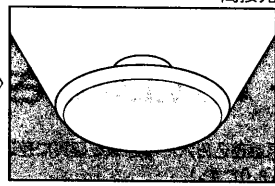
直接光



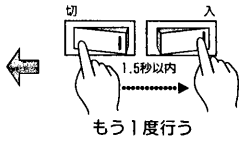
1度切り、もう1度入れる



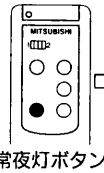
間接光ボタン



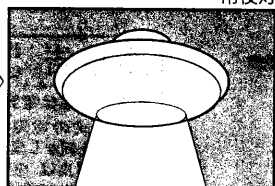
間接光



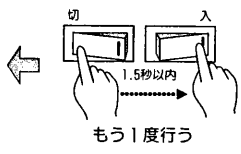
もう1度行う



常夜灯ボタン



常夜灯



もう1度行う

全光に戻る

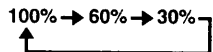
※1.5秒以上してから「入」にすると前回の使用状態で点灯します。

壁スイッチ操作

壁スイッチを入にすると全光になります。照明パターンは壁スイッチをいったん切にして、1.5秒以内に再度入にすると下図の順序で切替わります。

常夜灯ボタン

豆球の明るさが3段階に切替えられる豆球段調光機能付き



- 長時間使用しない時は壁スイッチを「切」にしてください。
- 壁スイッチで点灯すると前回の使用状態に戻ります。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が切替わることがあります。
- 1個の壁スイッチで2台以上の器具を操作すると正常に動作しないことがあります。

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

IDシーリング

形名 ZM4・ZM5・ZM8・ZM9

取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後、「三菱電機お客さま相談窓口一覧表」とともに大切に保存し、必要な時にお役立てください。
施工者さまへ
取付け工事のあと、必ずこの取扱説明書を使用者さまにお渡しください。

お客さまへ

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくためにこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、
△警告 △注意 の表示で区分して、説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです

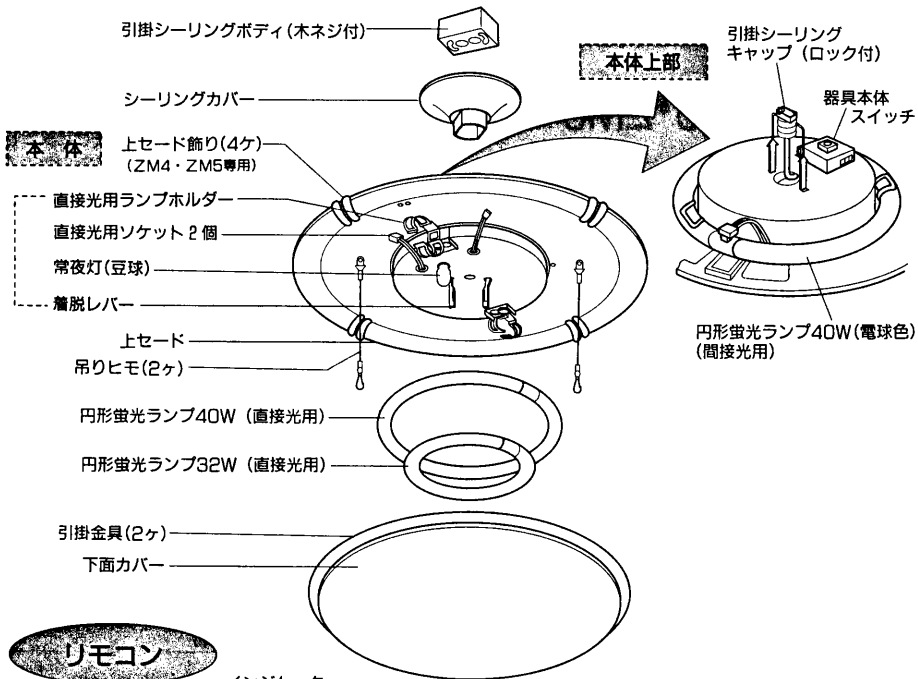
	絶対に行わないでください		必ず指示に従って行ってください
	絶対に分解・改造しないでください		絶対に触れないでください
	絶対に水場で使用しないでください		

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性のあるもの			
引火する危険のある雰囲気を使わない 可燃性スプレーを吹き掛けない 火災の原因		使用禁止	
異常時は電源スイッチを切る 炎がでたり、変な臭いがしたらすぐスイッチを切る 火災・感電の原因		厳守	
照明器具用配線器具に欠け、割れ、木ねじのゆるみがあるところに取付けない 火災・落下の原因		禁止	
分解・改造はしない 火災・感電の原因		禁止	
器具・ランプを水洗いしない 火災・感電の原因		禁止	
金属やごみを押し込まない 器具のすきまやソケット部にヘアピンや針金・可燃物などを押し込まない 火災・感電の原因		禁止	
布や紙などもやすいもので覆ったり、かぶせない 火災の原因		禁止	
ランプ交換・お手入れのときは電源を切る。 感電の原因		厳守	

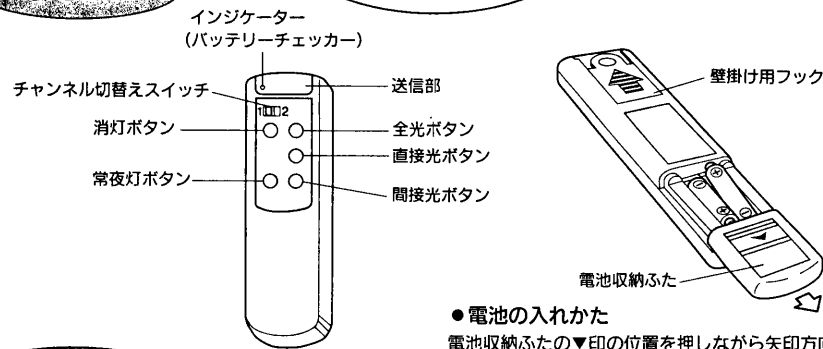
⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
高温(40℃以上)な場所で使わない 落下・感電・火災の原因		使用禁止	
使用済みランプは不用意に割らない ガラスの破片が飛散 けがの原因		禁止	
電気工事はしない 有資格者に取付けを依頼 感電の原因		禁止	
ランプに塗料などを塗らない ランプが加熱、破損して けがの原因		禁止	
蛍光灯ランプは器具表示の指定W(ワット)数のランプ以外は使わない 加熱して火災の原因		使用禁止	
羊づち天井・傾斜天井に取付けない 落下・火災の原因		禁止	
ランプホルダーをランプに強く当てない ランプが破損して けがの原因		禁止	
点灯中及び消灯直後のランプにはさわらない 高温のためやけどの原因		接触禁止	
長期間使わないときは電源を切る 感電・火災の原因		厳守	
強い振動・衝撃のある場所で使わない 器具破損により落下の原因		使用禁止	
カバー・セードの取付けは、確実にこなう 中途半端な取付けは落下の原因		厳守	
取付ねじは取扱説明書に従い確実に取り付ける 落下の原因		厳守	
安全にご使用頂くために半年に一回の保守・点検を行う		厳守	
乾電池の使い方を誤ると、液漏れ、破裂、発熱の恐れがあり、けが・故障の原因		厳守	

- 乾電池を(+)、(-)正しく入れる
- 乾電池をショート・分解・加熱しない
- 新・旧・他の種類の乾電池を混ぜて使わない
- 乾電池を充電しない

各部のなまえ

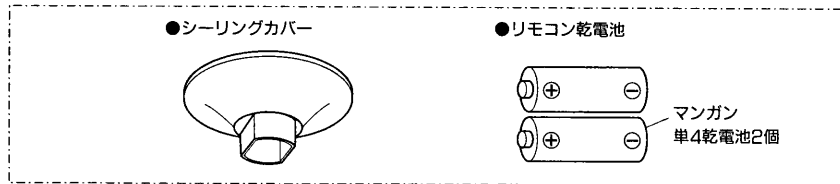


リモコン



●電池の入れかた
電池収納ふたの▼印の位置を押しながら矢印方向にはずす。乾電池の+、-を確かめて入れる。
電池収納ふたをしめる。

付属部品

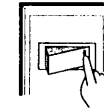


取付けの前に

次のような場合にはすぐ取付けられます。(以下の3点を確認してください。)

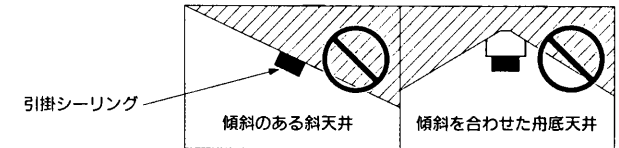
照明用壁スイッチがある

壁スイッチのない場合は、電気工事に依頼してください。

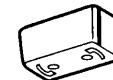


天井の形

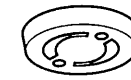
右図以外の天井



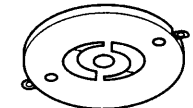
配線器具



角形引掛シーリングボディ



丸形引掛シーリングボディ

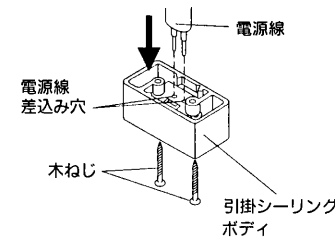


埋込ローセット

上図のような引掛シーリングボディがついていない場合は、電気工事が必要です。
電気工事は電気工事に依頼してください。

電気工事店さまへ

- (1)引掛シーリングボディの電源線差込み穴に電源線を確実に差込む。
(適合電線は単線のφ1.6、φ2.0です。)
- (2)付属の木ねじ2本で引掛シーリングボディをしっかり天井に取付ける。



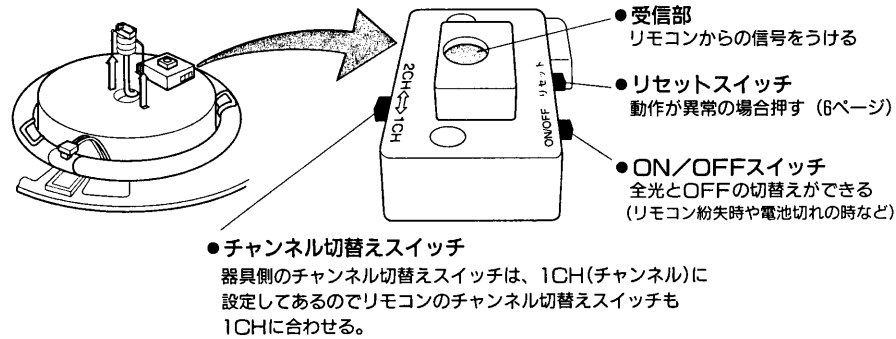
警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性のあるもの

- 電気工事は電気設備の技術基準・内線規定に従う。
- 速結式の電源接続は、指定長さの電源線を指定長さに被覆を剥がし奥まで差込む。
接続不良は、感電・火災の原因

注意 誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 木ねじを板厚の薄い所や、強度の弱い所にねじ込まない。
器具落下の原因
- 壁付の調光器やシーンコントローラとの併用はできません。
器具を損傷する原因

スイッチについて



2台の器具を操作する場合

器具側とリモコンのチャンネル切替えスイッチを下図のように設定すると個別操作と同時操作ができます。

●2台を個別に操作する場合(個別操作)

	器具側	リモコン側
1台目	1CH	1
2台目	2CH	2

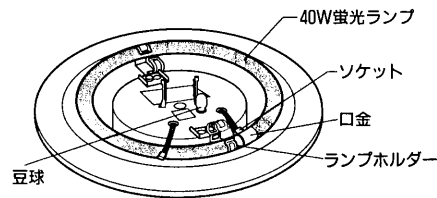
●1台のリモコンで2台を同時に操作する場合(同時操作)

	器具側	リモコン側
1台目	1CH	1
2台目	1CH	

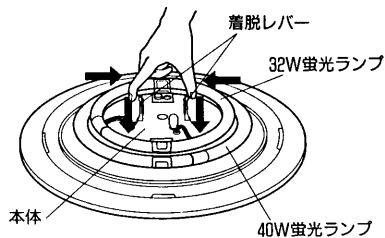
取付けかた

ランプの取付け

- 1 本体を逆向きにして平らな所に置く。
(豆球側が上面にくるように)
- 2 40W蛍光ランプの口金にソケットを差し込む。
(取付けは必ず40W蛍光ランプから)
- 3 ランプをランプホルダーにはめこむ。
- 4 32W蛍光ランプを同様に2.3の手順で取付ける。
- 5 片方の手で本体を支えながら着脱レバーをつぼめて本体に押し込む。
(着脱レバーが上面に出っぱっていない時、この操作は
いりません)

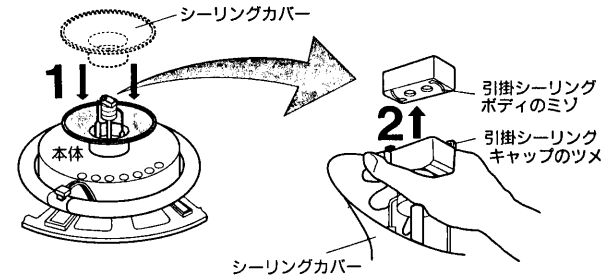


ランプ装着状態

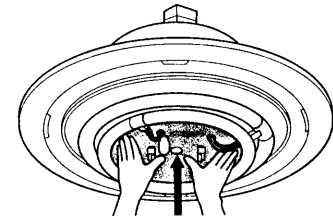


天井への取付け

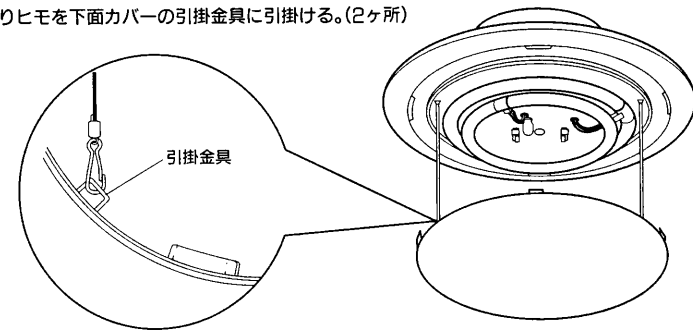
- 1 シーリングカバーを本体の上部中心に押し込む。
- 2 引掛シーリングキャップのツメを引掛シーリングボディのミゾに合わせカチッと音がするまで右にまわす。



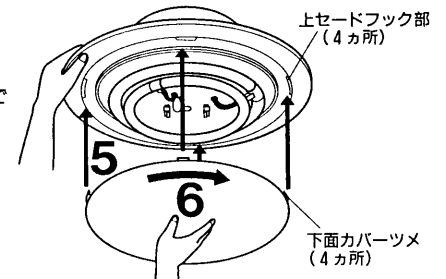
- 3 カチッと音がするまで本体を押し上げる。



- 4 吊りヒモを下面カバーの引掛金具に引掛ける。(2ヶ所)



- 5 下面カバーツメを上セードフック部に合わせる。
- 6 下面カバーを軽く支えながらしっかり止まるまで右にまわす。



施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずこの取扱説明書を使用者さまにお渡しください。

<h2>警告</h2> <p>誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性のあるもの</p>		
<p>器具取付けの際は電線を挟まない 絶縁不良により 感電・火災の原因</p> <p>禁止</p>	<p>取付工事は電気設備の技術基準・内線規定に従う</p> <p>厳守</p>	<p>速結式の電源接続は、指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥かし奥まで差込む。</p> <p>感電・災害の原因</p> <p>厳守</p>
<h2>注意</h2> <p>誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p>		
<p>高温(40℃以上)な場所に取り付けられない</p> <p>落下・感電・火災の原因</p> <p>禁止</p>	<p>強い振動・衝撃のある場所に取り付けられない 器具破損により落下の原因</p> <p>火災・感電の原因</p> <p>禁止</p>	<p>風呂場など湿気の多い場所に取り付けられない</p> <p>感電・火災の原因</p> <p>使用禁止</p>
<p>白熱灯用調光器に接続しない</p> <p>加熱して火災の原因</p> <p>禁止</p>	<p>器具は屋外に取り付けられない</p> <p>劣化・水気・湿気の侵入により感電・落下の原因</p> <p>禁止</p>	<p>電源は100V以外接続しない</p> <p>火災・感電の原因</p> <p>禁止</p>
<p>木ネジ・ヒートンは、薄い板部分、強度的に不十分な天井にねじ込まない</p> <p>器具落下の原因</p> <p>禁止</p>	<p>ドアの開閉で当たる部分に照明器具を取付けられない</p> <p>破損して落下の原因</p> <p>禁止</p>	

故障かな?と思ったら

症状	確認	処置
ランプが点灯しない	①壁スイッチが入っていますか? ②ランプソケットの接続不良ではないか? ③ランプ切れではないか?	①壁スイッチを入れる。 ②ソケット部を確認する。 ③新しいランプと交換する。
リモコンがきかない (器具の近くで操作してもリモコンがきかない)	①器具本体とリモコンのチャンネルが合っているか? ②リモコンを操作したときリモコンのインジケータが点灯するか? ③近くで別のインバーター器具や赤外線をはしているものがないか? ④送信部および受信部がよれていないか?	①チャンネルを同じチャンネルに合わせる。 ②点灯しないとき電池の寿命。電池を交換する。 ③器具間を離すか他の器具をOFFにして確認する。 ④汚れを拭きとる。
なおリモコンがきかない	●リセット処置 器具本体のリセットスイッチを押してください。	
リセット処置しても正常に戻らない場合 (一時的な処置)	●マニュアル処置 器具本体のON/OFFスイッチで点灯、消灯するか、を押してください。ON/OFFスイッチで点灯状態とし、壁スイッチで点灯、消灯の操作をしてください。	

以上の処置をしても異常のあるときは、お買上げの販売店またはお近くの三菱電気お客様相談センターへご相談ください。

愛情点検

☆長年ご使用の照明器具の点検を!

<p>ご使用の際、このようなことはありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コゲくさい臭いがする。 ●ランプを取りかえても、正常に点灯しない。 ●器具に触れるとビリビと電気を感ずる。 ●その他の異常や故障がある。 	▶	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談下さい。</p>
--	---	--

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
 神奈川県鎌倉市大船5-1-1
 ☎0467-41-2726

取りはずしかた

壁スイッチを切ってから行ってください。

カバー

左にまわす

本体

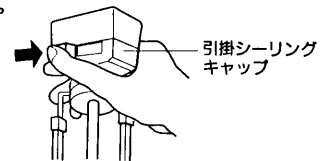
必ず本体を片手で軽く持ち上げて支えながら着脱レバーをつぼめる。

吊りヒモを下面カバーの引掛金具からはずす。

注意
必ず本体を支えてください。

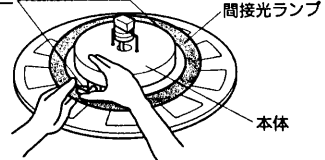
天井からの取りはずし

引掛シーリングキャップの横のボタンを押しながら左にまわす。



間接光ランプ

ランプホルダーを本体側に押しながら、ランプを上押しする。反対側は横にすらすら。



お手入れのしかた

壁スイッチを切ってから行ってください。

プラスチックや金属部分の汚れは、柔らかい布でぬるま湯か石けん水につけてよくしぼってからふきとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。



仕様

電源	最大消費電力	重量	適合ランプ	適合豆球	寸法
AC100V 50/60Hz	108W	4.2kg	FCL40EX-L×1(大) FCL32EX×1(小) FCL40EX×1(大)	(5W)×1	外径60cm 高さ25cm